

## 大腸癌研究会プロジェクト研究

「直腸癌術後局所再発に対する治療の最適化に関する研究」委員会 第4回会議議事録

研究代表者 上原圭(日本医科大学付属病院 消化器外科)

日時 第101回大腸癌研究会・2024年7月11日(木) 09:00~10:00

場所 名古屋コンベンションホール第2会場 ※会場とWebのハイブリッド形式

出席者：

(現地参加)

相川浩和、愛洲尚哉、相原一紀、浅井慶子、安達智洋、池田正孝、石山泰寛、伊藤慎吾、岩佐陽介、岩田浩義、大木悠輔、大島萌、大平学、小澤平太、梶原由規、木村慶、黒見靖、後藤健太郎、小森康司、小山文一、近藤賢史、佐伯泰慎、佐村博範、塩澤学、塩見明生、島田能史、杉原健一、杉本晃祐、鈴木直宏、高橋佑典、高見澤康之、瀧山博年、田中慶太郎、田中正文、塚田祐一郎、中野麻恵、中野大輔、野上仁、橋本恭一、服部正嗣、花井恒一、馬場研二、濱元宏喜、久田かほり、肥田侯矢、廣川高久、福井誠、福長洋介、藤吉健司、古屋信二、舛石俊樹、松田請子、三浦卓也、的場周一郎、宮澤善夫、虫明寛行、森川充洋、安井昌義、山内慎一、山田岳史、山本聖一郎、山本雄大、横山雄一郎、吉敷智和、吉村貴裕

(Zoom参加)

今岡裕基、太田竜、大沼忍、岡崎直人、岡村亮輔、小野智之、栗山亜希子、小竹 優範、近藤 彰宏、坂本一博、重安邦俊、渋谷雅常、白下英史、高島順平、高橋秀和、高橋広城、竹田充伸、田子友哉、田中佑典、問山裕二、徳永卓哉、所為然、豊田尚潔、永田淳、中野雅人、南角哲俊、廣純一郎、古谷裕一郎、星野伸晃、的場周一郎、真鍋達也、宮澤秀彰、八重樫瑞典、安井昌義、山梨高広、山本大輔、幸地彩貴、横山雄一郎、吉満政義、盧尚志  
(事務局)

上原圭、山東雅紀

【50音順】

【敬称略】

### 議題 1. 研究の概要と進捗状況について報告(事務局)

・改めて本研究の目的と対象について説明した。直腸癌術後局所再発のデータベース作成を目標としており、手術治療のみならず、化学療法・放射線治療・緩和治療まで幅広く症例登録を行う。

・実施許可証の発行状況(未発行施設：計25施設)

現在、本研究へ98の施設に参加いただいている。73施設において実施許可証発行済であり、未発行施設においてもほとんどの参加施設で申請中であり、本年度中のデータ登録完了を目指している。

・CRF・画像の登録完了済施設および各施設の症例登録数

2024年7月10日時点で、14施設から計360例の集積が完了した。目標登録数は1000例であり、達成可能と考えている。

#### 議題 2. CRF 登録について

- ・登録期間は2024年12月31日までを予定しているが、CRFの確認作業に相当の時間を要するため、完成したCRFから順次事務局まで送付いただくようお願いした。
- ・CRF登録時の注意点について説明した。化学療法および放射線治療後の腫瘍縮小割合の記載法について統一を図るため、後日メールにて周知させていただく。また、CRF内に空欄があると事務局より参加施設へ問い合わせさせていただく必要が出てきてしまうため、極力空欄がないようお願いをした。

#### 議題 3. 今後の予定

- ・第101回大腸癌研究会終了後、第3回中央一括審査を予定している。新規施設の追加登録や、各施設の研究責任者・分担者の変更、プロトコルのマイナー変更を行う。
- ・2024年12月31日までにCRF登録、画像収集を完了し、2025年3月頃を目安に病理スライド収集の完了を目指している。

#### 議題 4. 新規病理学的因子の評価について（防衛医科大学校 梶原由規先生より）

- ・病理スライド収集の背景と目的、方法について説明があった。CRF登録が完了した施設より病理スライド収集が開始となる。2024年7月1日時点で、病理プレパラート貸出に了承いただいた施設は36施設で、うち3施設で病理プレパラートの収集が開始されている。これまでの参加施設からの質問一覧を本会議にて共有した。

#### 議題 5. 画像収集について（QST病院 瀧山博年先生より）

- ・改めて画像収集の手順書の要点について説明した。直腸癌術後局所再発の確定診断に至るまで、複数回の画像検査（時間経過のサイズ変化で診断される症例）が実施されている場合が多いと思われるが、基本的には確定診断の1個前の画像検査データ（目安は3か月）を送付いただければよいが、複数回の画像データをすべて送付いただいても問題ない。

#### 今後の予定

- ・第3回中央一括審査の実施
- ・実施許可証の送付
- ・2024年12月31日までにCRFおよび画像登録の完了
- ・2025年3月頃を目処に病理スライド収集の完了

文責 事務局 山東雅紀／委員長 上原圭